

せいらん人推協だより

発行者：晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会

第 16号 令和4年3月15日発行

会長あいさつ

晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会

会長 初田 勝廣

2年にわたり続いております、新型コロナウイルスの感染で様々な事業が計画しては中止となり、この原稿を執筆しているときには「まん延防止等重点処置」が3月上旬まで31都道府県で発令中、また複数の都道府県が更なる延長を予定されています。

皆様におかれましては、まだまだ心労が絶えない日々が続いており収束が見えていませんが、3回目のワクチン接種も始まっており何とか乗り越えていければと願っております。

そんな中、ロシアによるウクライナ侵攻は大きなショックでした。ニュースで取り上げられていた映像で小さな子どもが「怖いよー、死にたくないよー」と叫んでいたことに対し、思わず涙が出てきました。人権を無視した戦争は絶対に容認することは出来ません。

また、国内のニュースでも幼い命が保護者等による虐めで亡くなられたことが報道されていますが、私たちは何ができるのか自問自答で悶々としている中で、できることは身近な中から始める挨拶や声掛け、地域のつながりを大事にしていくことが大切であり、幼い子ども達の人権を守る重要な第一歩ではないかと考えております。

最後になりましたが、今後も皆様から一層のご指導ご鞭撻のほど、何卒、宜しく願い申し上げます。



～貴方の町内や職場等で人権学習を始めませんか～ 人権研修の出前講座をご利用ください。

晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会は、差別やいじめ・虐待等が無く、「安心して暮らせる街づくり」を目指し、地域や職場での人権学習に対し、研修会の計画から講師手配までお手伝いをさせていただきます。

学区内で人権尊重が根付くように活動してまいりますので、お気軽にお申込み又はご相談いただきますようご案内申し上げます。



(晴嵐学区内であれば参加人員を問わず、研修の申込みをいただきますと、研修内容等の事前打ち合わせを行い、人推協又は人推協が手配した講師が指定場所に出向き、講話や話し合い、DVD映写等の研修を行います)

申込先：晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会
電話 537-0743 (晴嵐公民館内)

第53回 人権を考える大津市民のつどい（晴嵐学区）

夏の集会

夏の集会は例年ですと7月に講演方式で開催計画を立てておりましたが新型コロナウイルス感染の第4波が発生しており、今年度は中止とさせていただきます。

秋の集会

映画（DVD）上映会 ～みんなの学校～

昨年（2021年）の11月6日（土）に晴嵐市民センターで映画上映会を開催し、2回の上映で73名の方が参加されました。

題名は以前、集会に参加された方からアンケートの中で希望があり、第68回文化庁芸術祭大賞など数々の賞を受賞したテレビドキュメンタリーで不登校ゼロを目指す大阪市立南住吉大空小学校の取り組みを紹介した作品「みんなの学校」を上映しました。

内容は、発達障害を抱えた子、自分の気持ちをうまくコントロールできない子など、いわゆる特別支援の対象となる児童も同じ教室で学ぶ。大空小学校を目指すのは不登校ゼロ。教職員、保護者、地域の大人たちだけでなく、子ども同士も一緒になり「みんながつくる、みんなの学校」のスローガンに取り組む姿を長期にわたり取材された作品でした。

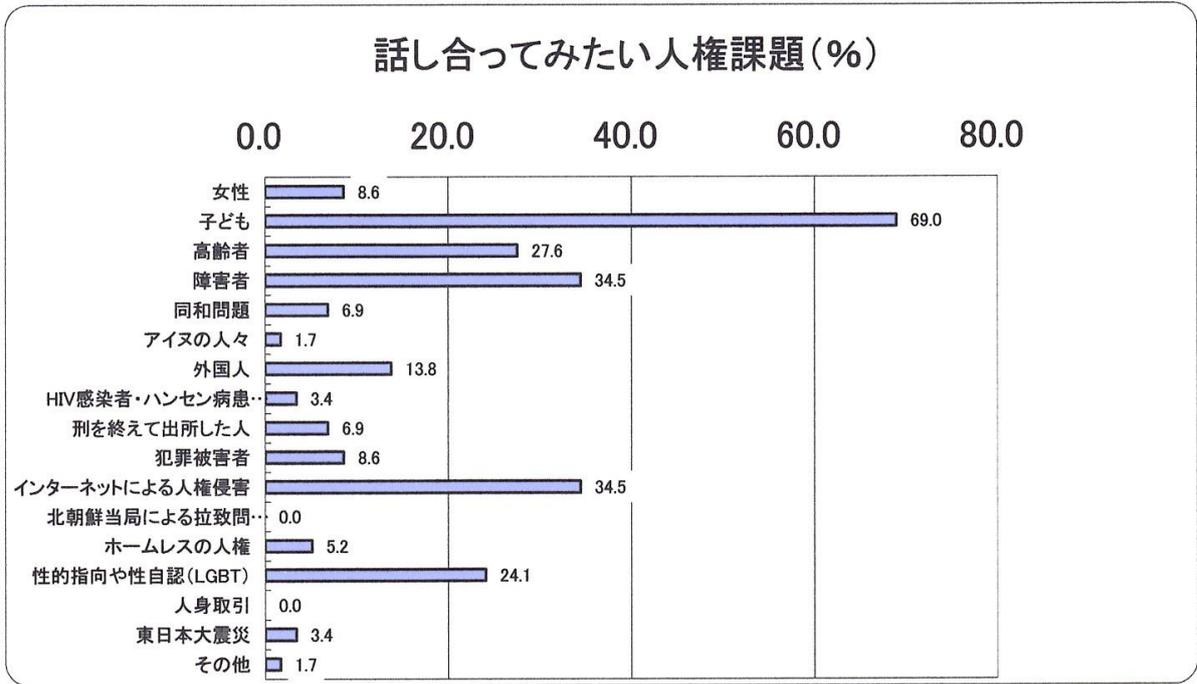
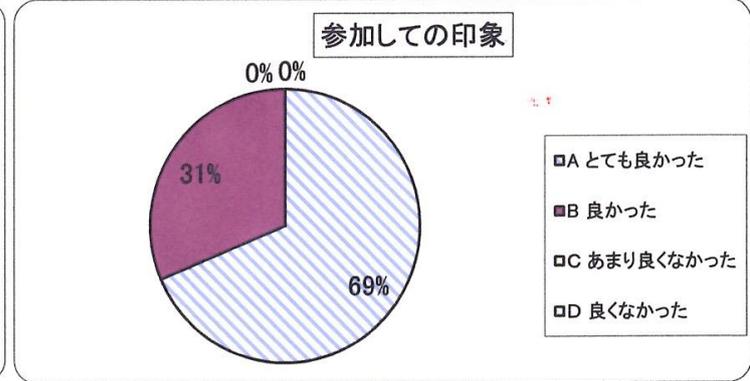
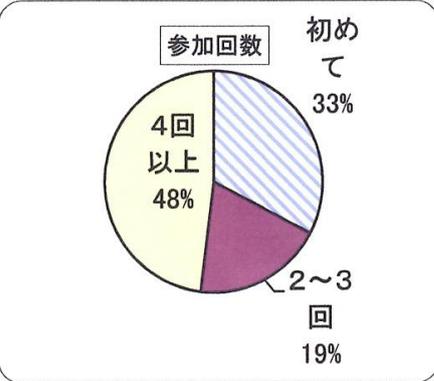
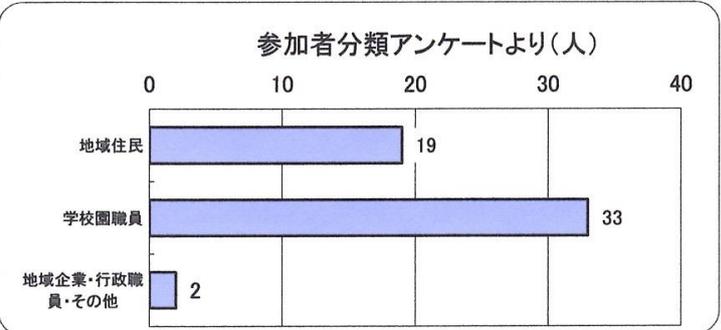
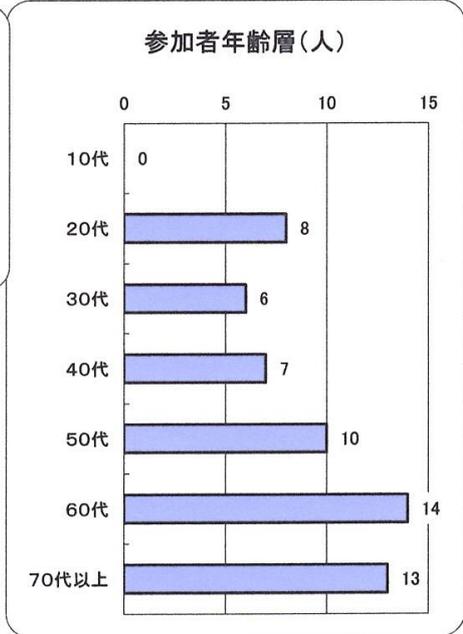
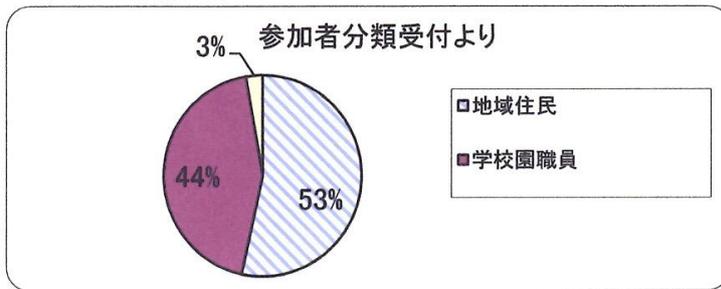
多くの方から、見たかった映画で感動や学びのお言葉を頂きました。



新型コロナウイルス感染者数も減少している状況ではありましたが、会場入り口で検温や手指消毒を行っていただき、開催前には会場の空気入れ替えや着席の椅子も消毒を行うなど、感染対策を徹底して行い、参加希望者も200名が入れる会場でしたが、1回の上映につき50名とさせていただきます午前と午後の2回上映としました。

多くの参加された皆様のご協力とスタッフの方々のお陰で無事開催が出来たことに感謝しております。

第53回人権を考える大津市民のつどい
粟北（晴嵐）ブロック アンケート結果



参加者 73 名中、アンケート回収 58 名 (79.5%) ※項目により無回答や複数回答があります。

お知らせ

2月に予定していました晴嵐学区人権講座（映画上映）「さとにきたらええやん」と映画の舞台となった大阪市西成区にある「こどもの里」の視察研修会は新型コロナ感染者の増加により、また視察先である大阪府で蔓延防止の発令が出され急遽中止とさせていただきました。

しかし、予定していました映画上映については視聴を希望される方が多くあり、今年の7月9日（土）に人権を考える大津市民のつどい・晴嵐学区「夏の集会」として計画することといたしました。新年度に入り総会で事業承認を得てから案内を行いますので宜しくお願い申し上げます。

涙と笑いあふれるドキュメンタリー映画

**いつでもおいでや。
子どもも大人も集まる
みんなの“さと”**

令和4年7月9日（土）1回目：10:00～
2回目：14:00～

場所：晴嵐市民センター 大ホール

（注、上記の日時は予定であり、総会で承認後に改めてご案内いたします）

【内容】大阪市西成区釜ヶ崎。“日雇い労働者の街”と呼ばれてきたこの地で38年にわたり取り組みを続ける「こどもの里」。“さと”と呼ばれるこの場所は、障がいの有無や国籍の違いに関わらず、0歳からおおむね20歳までの子どもが無料で利用することができます。学校帰りに遊びに来る子、一時的に宿泊する子、様々な事情から親元を離れている子、そして親や大人たちも休息できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、地域の貴重な集い場として在り続けてきました。



人権啓発のシンボルマーク
[人権=心のマーク]

【編集後記】

コロナ化の中で、活動に制限が多い中、人との触れ合う機会や時間が少なくなっております。しかし、小さな子どもさんのワクチン接種や3回目の接種が進んでいけば、また活動制限も変わって来ると信じ、その日がいち早く来るように今しばらく自粛と窮屈な生活を継続しております。皆様におかれましても、今しばらくの我慢をお願い申し上げます。

人権、差別等に関するご意見がございましたらご相談下さい。

晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会
電話 5 3 7 - 0 7 4 3（晴嵐公民館内）